



# あかね文庫お話しの会 おひさまだより



## 絵本アンケート

### “私の好きな絵本”

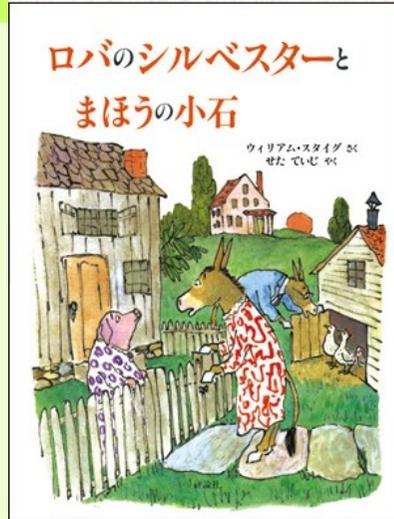
(医療系 バタコさん)

娘(4歳):『ぼくのトイレ』『ゆきのひのおかいもの』『どうぞのいす』など

私:『はらぺこあおむし』『ゆきのひのうさこちゃん』(ミッフィー)など

おばあちゃん:『ないたあかおに』

『はらぺこあおむし』は私が子どもの頃、穴のあいた本はめずらしく、穴に指や鉛筆を通して遊んでいました。学生時代、研修先のアメリカで、ふとのぞいたおもちゃやさんで見つけ、懐かしくて自分用のおみやげに買ってきました。英語題は『THE VERY HUNGRY CATERPILLAR』あおむしは“キャタピラー”っていうんだと知りました。その後、海外旅行の折に本屋さんで探すようになり、今では5冊になりました。時々、子どもが5冊全部並べて遊んでいるのですが、5ひきのあおむしはけっこうグロテスク。集めるのはミッフィーにすればよかったかな...



## えほんの紹介

### 「ロバのシルベスターとまほうの小石」

ウィリアム・スタイク/さく  
せた ていじ/やく 評論社

石集めの好きなロバのシルベスターは、ある日

燃えるように赤い小石を見つけます。それは何でも願いがかなうふしぎな魔法の小石でした。帰り道でライオンに出くわしてしまったシルベスターは、あわてて思わず自分が岩になることを願ってしまいます。元の姿に戻れず、ずーっと岩のままではないなければならないシルベスターの孤独とさびしさ！愛するシルベスターを手を尽くして探しまわる両親の悲しみ！秋から冬、春へと季節はめぐります。そして5月のある日、ようやく奇跡の再会ができました！親子三人の喜びとこのうえない幸せが伝わってきて、深く胸をうちます。きっといつまでも大切にしたい絵本になるでしょう。

## 小さなおともだち

### —魔法の小石をひろったら—

ひまわり学級は先生と子どもたちとで、なごやかなたのしい雰囲気にあふれています。絵本を読むといろいろな話がはずみます。ある日、ひまわり学級で『ロバのシルベスターとまほうの小石』を読みました。読み終わった後、なんでも願いがかなう魔法の小石を見つけたら、なにを願うかという話になりました。すると「ぼく、病気が治るようお願いします！」という〇〇君の声がしたかと思うと、すぐに「やっぱり、ヤメた！だって治療すれば治るから」と言い直しました。それは治療に真摯に向き合う力強い言葉でした。

